

## 生田緑地からのコシアカスカシバの追加記録

An additional record of *Scasiba scribai* (Bartel) (Lepidoptera, Sesiidae)  
from the Ikuta Ryokuchi Park, Kawasaki City, Kanagawa Prefecture

川島逸郎\*・永井一雄\*

Itsuro Kawashima and Kazuo Nagai

\*川崎市青少年科学館（かわさき宙（そら）と緑の科学館）

\*Kawasaki Municipal Science Museum

中島・山本 (2006) によれば、神奈川県内では古い標本 (1 ex., 12. IX. 1940, 西生田) に基づく 1 例の記録 (岩田他, 2002) があるのみのコシアカスカシバ *Scasiba scribai* (Bartel) が, 75 年を経て, 同じ川崎地区から新たに得られたため, 市域のみならず県内 2 例目の記録としても公表しておく。

当該標本は, 現時点では登録番号は付されていないが, 川崎市青少年科学館に収蔵保管されていることを付記する。

本報告を作成するに当たって, 文献の手配にご助力頂いた加賀玲子氏 (神奈川県昆虫談話会) に厚くお礼を申し上げます。

### 採集記録

1♀, 多摩区栢形 7 丁目 (生田緑地・整備事務所向い), 4-IX-2014, 永井一雄採集 (図)。

本種は, ブナ科のクヌギ, コナラ, シラカシ, ツクバネガシ, クリおよびクルミ科ペカンを食餌植物とし, 幼虫は主幹部の樹皮と木部との間に入り, 不定形な部屋の中で樹液に埋まっているとされる (有田・池田, 2000)。今回得られた個体は, 樹液の浸出するクヌギの樹幹に静止している処を発見, 採集された。その状況から, 羽化直後あるいは産卵に訪れたものであった可能性がある。蛹殻は見出されていないが, 採集時の状態が新鮮であった点を考慮すると, 前者であったものかもしれない。

なお, 県内で初めてとなる標本は, 今回の記録地から近隣の多摩区西生田において 1940 年 9 月 12 日に得られている (岩田他, 2002)。今回の記録は県内 2 例目であるとともに, 上述した通り, 川崎市域において 75 年ぶりの記録となった。有田・池田 (2000) によれば本種は, クヌギやコナラな

などの落葉カシ類よりは, シラカシといった常緑のカシ類をより好むようである。生田緑地をはじめ, 市内においてこれらの樹種が生育している地域では, 今現在も本種が存続する生息地が他にも残されている可能性があるため, とりわけ樹液の浸出している食樹の周辺では, 引き続いての留意が必要である。

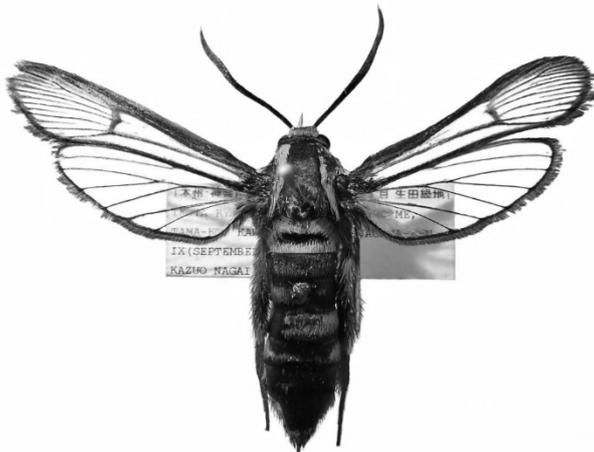


図) 生田緑地産コシアカスカシバ標本。

### 引用文献

有田 豊・池田真澄, 2000. 月刊むし・ブックス 3. 擬態する蛾 スカシバガ. 203 pp. むし社, 東京.

岩田芳美・長瀬博彦・脇 一郎・中島秀雄, 2002. 中山周平氏所蔵標本目録. 川崎市青少年科学館紀要, (13): 119-131.

中島秀雄・山本光人, 2004. チョウ目 (ガ類) Lepidoptera (excl. Hesperioidea & Papilionoidea). 神奈川県昆虫談話会 (編), 神奈川県昆虫誌 III, pp. 907-1158. 神奈川県昆虫談話会, 小田原.